

資産運用の読み物



経済・投資のあんちよこ

VOL.21

電力小売が全面自由化したらどんな影響があるの？

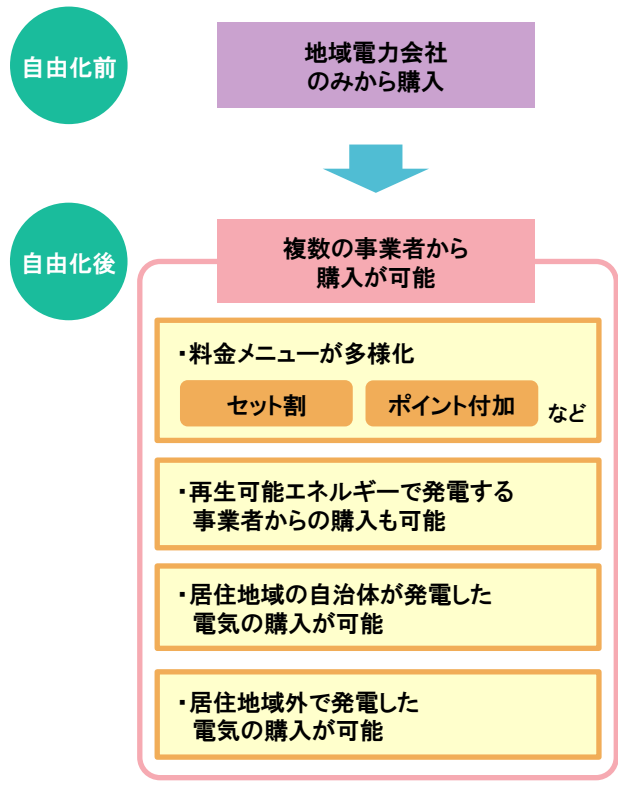
今回の話題

今年の4月から電力小売が全面自由化します。電力は、発電・送配電・小売という流れで各家庭や企業などに供給されます。学校や企業向けはすでに自由化していますが、今回家庭向けも行うことで「全面自由化」となります。さて自由化は、消費者にどんな影響があるのでしょうか？

8兆円ほどの市場に約170社が参入

- 今回の自由化で注目されているのは、既存の電力会社以外の異業種からの参入です。現在約170社が新規に登録されており、自社の事業を生かした料金プランやサービスを用意しています。
- 例えば通信会社は、通話料とのセット割サービスやポイントの付加といったサービスを用意しています。石油会社では、保有する自社発電所の活用で価格競争力を打ち出しつつ、ガソリンを値引するサービスなどを打ち出しています。
- また、太陽光や地熱といった再生可能エネルギーで発電する事業者を選べるなど、エネルギーの種類で購入先を選べる可能性も広がります。さらに居住地域の自治体が運営する事業者から購入する「電気の地産地消」、反対に、居住地域以外で発電した電気を購入することも可能になります。
- 現在、電力小売市場は約8兆円規模と言われています。サービスの多様化で消費者には選択肢が広がり、市場の活性化が期待されます。

■ 全面自由化でどう変わる？



Point

新規参入企業の特徴を生かした料金プランやサービスが多様化し、消費者の選択肢が広がります。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。